

# エコアクション21 平成20年度 環境活動レポート

平成21年08月04日

## 有限会社品田商会整備センター

### 目次

第1章 環境方針	1
第2章 環境目標とその実績	1
第3章 主要な環境活動計画の内容 と 環境活動の取組結果の評価	2, 3
第4章 新規の取組	3
第5章 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	3, 4
第6章 組織の概要	4

## 第1章 環境方針

### 環 境 方 針

#### 1. 省資源・省エネルギー活動の推進

事業所内の整理・整頓・清潔・清掃に留意し、事業活動に於ける電力・紙・水道等の資源、石油等化石エネルギーの使用量の節減等環境負荷の低減に努めます。

#### 2. エコドライブ等によるCO2削減の推進

停車時の無駄なアイドリングをはじめとするエコドライブによる環境負荷への低減を推進します。

#### 3. 廃棄物の維持管理をする

事務所から出る廃棄物を最小限にする努力をし、分別処理を推進します。

#### 4. 排水量の維持管理をする

事業所内で使用する水量を削減します。

#### 5. 自動車リサイクル法の遵守

交換部品等の正しい廃棄物処理を実施するとともに、リサイクルパーツの推進に努めます。

平成18年12月07日

有限会社 品田商会整備センター

代表取締役 品田 庄一

## 第2章 環境目標とその実績

### 1. 平成17年度～平成19年度の環境負荷の実績

No	項目	単位	17年度	18年度	19年度
1)	二酸化炭素排出量 (総量)	kg-CO2	105,005	91,887	89,103
2)	廃棄物排出量 (総量)	t	121	80	97

No	項目	単位	17年度	18年度	19年度
3)	水資源投入量（総量）	m3	958	855	544

## 2. 20年度～22年度の環境目標と実績

No	項目	基準値	目標実績	20年度	21年度	22年度
1)	二酸化炭素排出量の削減（総量）	20年度目標値	目標	103,953	103,434	103,122
		103,953kg-CO2	実績			
2)	廃棄物の維持管理（総量）	19年度実績値	目標	97	97	97
		97 t	実績			
3)	上水道使用量の削減（総量）	20年度目標値	目標	929	920	910
		929m3	実績			
4)	リサイクルパーツの使用（金額総額）	20年度目標値	目標	2,420	2,420	2,420
		2,420 千円	実績			

- 1) 年度は、10月～9月です。
- 2) 17から19年度の総量は、10月～9月1年間の実績値です。
- 3) 二酸化炭素排出量の削減は、冬季間と夏季間の数ヶ月間で単月目標値をクリアできなかったが、全期間を通じて14%の減少という良い結果となった。
- 4) 廃棄物の実績値はE A21取得前のため、数値管理をしていませんでした。17年度実績値は18年度10月から4月までの燃焼廃棄物（一般廃棄物）及び電子マネー移転後の数値からの見込み算出になります。19年度10月から9月までの1年間の実績値になります。
- 5) 廃棄物の削減は、仕事の性質上削減不可なので、総数量の管理を徹底します。
- 6) 上水道使用量は、順調に推移し、40%の減少という良い結果となった。今後も、工場での水使用をできるだけ、無駄のないように使用し、継続して管理します。
- 7) リサイクルパーツは年度実績値になります。

## 第3章 主要な環境活動計画の内容 と 環境活動の取組結果の評価

No	環境目標	主要な環境活動計画の内容	環境活動の取組結果の評価 (10～9月の1年間)
1	二酸化炭素排出量の削減	エコドライブの推進。	各自アイドリング(暖機運転)等必要最小限の動作で運転、今後とも継続強化に努める。
2		節電方法の見直し。	工場未使用時、消灯。必要時、必要なところだけ電気を使用。
3		節電の徹底と実施。	工場未使用時及び休憩中の消灯の周知徹底及び実行。事務所内の不必要箇所の消灯実行。

4		冷暖房の温度設定(使用方法)の見直し周知徹底。	設定温度の継続、使用時間の短縮に努める。
5	廃棄物の維持管理	—	総廃棄物に関して仕事の性質上削減不可、総数量の数値管理の徹底と維持。
6		事務所及び工場内よりでの燃焼廃棄物の削減。	紙類など再利用できるものは最後まで使用後廃棄、梱包素材などの再利用によるゴミの削減に取り組む。
7		廃棄物処理法及び自動車リサイクル法に従った分別処理の徹底。	マニフェスト管理の徹底・管理・維持に取り組む。
8		分別方法を徹底する。	分別方法を決定、社内教育を実施しました。
9	上水道使用量の削減	工場内の水の使用方法の見直し	水使用に関して蛇口の閉め忘れに注意する。
10		工場内等の節水の実施と徹底	使用目的に応じて前準備から使用方法を考え節水に努め、現状を維持する。
11	リサイクルパーツの使用		使用できる部品については、顧客に金額日数等を説明の上、積極的に推進する。

## 第4章 新規の取組

1. 北陸信越運輸局長からの表彰受賞『地球に優しい自動車関連事業所』。
2. 東京商工会議所主催のECO検定に、3名の合格。
3. ロータス新潟の会員として、海岸の清掃活動に参加。

## 第5章 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規の順守状況を自らチェックし、違反はありません。
2. 関係当局からの違反の指摘は、過去3年間ありません。
3. 訴訟も、過去3年間ありません。

## 第6章 組織の概要

No	項目	内容	
1	事業所名および代表者氏名	有限会社品田商会整備センター 代表取締役 品田 庄一	
2	所在地	〒945-0011 新潟県柏崎市松波4丁目1番63号	
3	環境管理責任者氏名および担当者連絡先	環境管理責任者	代表取締役 品田 庄一
		担当者	同上

No	項目	内容	
		連絡先	TEL 0257-23-2227 FAX 0257-23-2247
4	事業活動の内容	自動車分解整備業	
5	事業の規模	従業員数	15名（平成20年10月01日現在）
		土地面積	2,277 m <sup>2</sup> （平成18年10月01日現在）
		述べ床面積	818.45 m <sup>2</sup> （平成18年10月01日現在）

環境活動対象外事業所

- ・原町営業所(ユーロヴァーン)  
柏崎市原町6番48号
- ・新日本石油ENEOS松波給油所（サービスステーション）  
柏崎市松波2丁目2番13号

以上